

昭和大学医学部

脳神経内科

年報

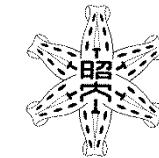
第4号

二〇一九年一月～二〇一九年十二月

昭和大学医学部内科学講座 脳神経内科学部門

# 昭和大学医学部 脳神経内科

## 年報



第4号

2019年1月～2019年12月

昭和大学医学部内科学講座 脳神経内科学部門

## 目 次

卷頭言 .....	1
[1] 出来事・人事異動 .....	3
[2] 診 療 .....	10
[3] 症例検討会 .....	14
[4] 教育活動 .....	15
[5] 業 績 .....	21
[6] 研究助成 .....	42
[7] 学位・専門医等 .....	43
[8] 褒 賞 .....	43
[9] 附属病院の紹介 .....	44
[10] 大学在籍者名簿 .....	47
編集後記 .....	49



## 年報第4号の刊行にあたって

2019年（令和元年）の昭和大学医学部内科学講座脳神経内科学部門教室の診療、教育、研究活動の記録をこの第4号にまとめました。

2019年について国内でのニュースに目を向けてみると、笑顔がキーワードであったと思います。まず、印象に残ったニュースは3月21日、東京ドームで行われたアスレチックスとの開幕シリーズ終了後に、米大リーグ・マリナーズのイチロー選手が現役引退を表明したことです。僕たちはイチロー選手と同世代なのでオリックス・ブルーウェーブ時代からずっとイチロー選手を見守り応援してきましたので、彼の引退は時が経つのは早いと感じるとともに寂しい気持ちもありましたが、引退会見でのイチローは笑顔を時折交えながら話され、「後悔などあろうはずがない。」の一言は身にしました。5月1日、皇太子 德仁親王殿下が第126代天皇に即位されました。11月10日に行われた「祝賀御列の儀」では皇居前広場や沿道にて約12万人（政府発表）が祝福し、皇后雅子さまが笑顔で手を振られるお姿が日本中に活気を与えてくださいました。8月4日、ゴルフの全英女子オープンで渋野日向子が初優勝を果たしました。男女を通じて、日本勢が海外メジャー大会で優勝するのは、1977年の樋口久子以来の快挙でラウンド中も笑顔を絶やさずにプレーする姿は臨床に携わる僕たちにも学ぶべきものがありました。10月には旭化成 名誉フェローの吉野彰先生がノーベル化学賞を受賞されました。吉野先生の満面の笑顔をテレビで見て、基礎研究を日夜続けている方々も今は思うような結果が出ていなくても諦めずに頑張ってみようと思われたのではないかでしょうか。僕たちは、どんなに忙しくても笑顔を絶やさず、常に後悔しないように心がけて診療、研究、教育に取り組み続けていきたいと思います。

当教室にとって、2019年は素晴らしい年でした。10月より本院（旗の台）で准教授として長らく御活躍下さいました村上秀友先生が、東京慈恵会医科大学神経内科の教授にご就任されました。愚生の盟友である井口保之教授のご高配がなければ実現しなかったことで、井口教授ならびに慈恵医大関係者の皆様にこの場を借りて深謝申し上げます。また、学内では長年本教室に貢献して下さいました市川博雄先生が藤が丘リハビリテーション病院内科教授に、藤

が丘病院脳神経内科の馬場康彦先生が診療科長に、とともに2020年1月1日付で昇任されました。学内で大学のために、地域のために日夜頑張ってくれている両先生がステップアップされたことは、大変嬉しく、そしてありがたく思いました。

2019年は、診療面では昭和大学病院では江東豊洲病院脳神経内科より水間先生をスタッフに加え、脳卒中診療を脳神経外科、循環器内科等との連携を深めながら積極的に行うことで入院患者を増やし、昭和大学病院、ひいては城南地区での脳卒中診療の守備範囲をさらに広げることができました。また、認知症領域の地域医療への貢献として同級生の藤元君（鳳優会）のご協力を得て平成29年度から開催している「もの忘れカフェ」は、患者様やご家族だけでなく、認知症診療に関わる様々な職種の方々にご参加いただき、大変盛況な状況が続いております。学問におきましては、2019年は国内学会、国際学会での発表、国際誌の症例報告、原著論文、総説論文の発表も教室員が臨床で忙しい中で頑張ってくれたと思います。特に金野先生らの画像論文、村上先生ら、野元先生らの神経変性疾患のバイオマーカー論文、そして安本先生らのアミロイド $\beta$ オリゴマーに関する論文は国内外で高い評価を得ることができました。これもひとえに学内外の皆様方の御指導、御鞭撻のおかげであり、心より感謝申し上げます。しかしながら、まだまだ全国の大学脳神経内科学教室の業績には遠く及びませんので、尚一層精進していく所存です。

最後になりましたが、この年報第4号を皆様に御高覧いただき、今後とも一層の御指導、御鞭撻を賜わりますことができれば誠に幸いに存じます。

2020年3月  
教授/診療科長 小野 賢二郎

## 【1】出来事・人事異動

2月1日

量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所脳機能イメージング研究部  
脳疾患トランスレーショナル研究チーム・研究員 高堂裕平 先生より

『脳イメージング（特にMRS）を用いたトランスレーショナルリサーチ』

のタイトルで御講演賜りました。



4月19日

東京都保健医療公社 豊島病院 神経内科 医長 津田浩昌 先生より

『神経眼科の実際の症例による診断・診察の方法とコツについて』

金沢大学大学院 脳老化・神経病態学（神経内科学）教授 山田正仁 先生より

『認知症地域コホートを起点とするアルツハイマー病予防法の開発』

のタイトルで御講演賜りました。



4月26日  
東京医科大学 脳神経内科 准教授 赫 寛雄 先生より

『長期を見据えたパーキンソン病 治療戦略』

のタイトルで御講演賜りました。



6月8日  
中村記念病院 診療本部長・てんかんセンター長 溝渕雅広 先生より

『いつもは話さない てんかん診療の謎』

のタイトルで御講演賜りました。



7月 26日  
福井大学医学部 第二内科 脳神経内科 診療科長・准教授 濱野忠則 先生より  
『ビタミン欠乏と神経疾患』  
のタイトルで御講演賜りました。



9月 6日  
順天堂大学医学部消化器・低侵襲外科 助教 夕部由規謙 先生より  
『デュオドーパの胃瘻造設術について』  
昭和大学医学部内科学講座 脳神経内科部門 准教授 稲田宗太郎 先生より  
『当院におけるデュオドーパの症例について』  
順天堂大学医学部 神経学講座 准教授 大山彦光 先生より  
『デュオドーパの適応患者像及びマネジメントについて』  
のタイトルで御講演賜りました。



11月1日

昭和大学藤が丘病院 脳神経内科 准教授 馬場康彦 先生より

『高齢化社会におけるパーキンソン病治療～消化管障害と非経口治療～』

福岡大学医学部 神経内科学 教授 坪井義夫 先生

『パーキンソン病治療～今こそ考える夜間、早朝症状～』

のタイトルで御講演賜りました。



12月6日

杏林大学医学部 脳卒中医学教室 教授 平野照之 先生より

『超高齢社会ニッポンの脳卒中・てんかん対策』

のタイトルで御講演賜りました。





〈2020年1月 医局集合写真〉

(2) 大学人事異動

<新入医局員>

石 代 優美香

和 田 隆 秀

加 藤 悠 太

<転入>

4月

田 中 健一郎：鳥取大学医学部附属病院より江東豊洲病院へ

<転出>

4月

小 口 達 敬：昭和大学病院より薬理学講座医科薬理学部門へ

石 垣 征一郎：横浜市北部病院より石垣医院へ

8月

齋 藤 悠：昭和大学病院より池上さいとう内科クリニックへ

<昭和大学附属病院内異動>

4月

野 元 祥 平：昭和大学病院より藤が丘病院へ  
山 本 謙 謙：昭和大学病院より藤が丘病院へ  
久保田 恵 美：昭和大学病院より横浜市北部病院へ  
金 野 龍 太：藤が丘病院より横浜市北部病院へ  
高 橋 聖 也：藤が丘病院より昭和大学病院へ  
水 間 啓 太：江東豊洲病院より昭和大学病院へ  
井 藤 尚 仁：江東豊洲病院より昭和大学病院へ  
三 木 綾 子：横浜市北部病院より昭和大学病院へ

10月

大 橋 英 朗：昭和大学病院より横浜市北部病院へ  
久保田 恵 美：横浜市北部病院より昭和大学病院へ

## 【2】診 療

### 外来より

当科の外来は昭和大学病院および昭和大学病院附属東病院で行っております。

平成28年度より附属東病院でもはじまつた「物忘れ外来」は、令和元年中も順調に患者数が伸びており、着実に訪れる高齢化社会の波と、皆様の認知症に対する関心の高まりが感じられます。世の中のニーズに答えるべく、昭和大学脳神経内科の骨格でもある認知症診療は、これまで以上にアカデミックで患者様一人一人に対応するきめ細かい医療を心掛けて参ります。

当科の脳神経内科一般外来においては、午前中は初診患者様および再診患者様を複数の神経内科専門医師が分担して診察にあたっており、午後は再診患者、また専門外来を中心に該当する患者様を診させて頂く体制を設けております。初診患者様は紹介患者様のみならず、直接来院された当科対象症状をお持ちの患者様もお受けしております。脳神経内科の初診患者様は頭痛、めまい、しびれがとても多く、大多数は一過性の機能障害であります。そして午前中の外来では多数の再診患者様を診察しつつ、大勢の初診患者様を診ているため非常に煩雑になっております。そのような体制の中でも緊急性のある神経疾患や神経難病疑いの患者様を見逃さないことが非常に重要であり、スタッフ全員がそれを念頭に一人一人の初診患者様を先入観なく拝見し、頭部から足先までのダイナミックな神経診察を行うようつとめております。このような神経診察にはどうしても時間を要することがあり、患者様には時に長時間お待ち頂くこともありますが、ご容赦頂ければ幸いに思います。

本年は、初診患者総数 1,995 人（前年比 +117 人）であり、地域の皆様から信頼される診療体制が徐々に浸透していることを実感する一方で、再診患者総数 14,983 人（前年比 -728 人）は減少しており、地域から紹介いただいた患者様の逆紹介に関しても、当大学の方針に沿って今年一年医局員一同で努力した結果と思います。

今後さらに、一人でも多くの患者様に満足してもらえるよう、よりアカデミックで、より地域に貢献できる神経内科外来を目指して、一般外来および特殊外来スタッフ一同、日々研鑽を積んで参る所存であります。

外来医長 笠井 英世

## 令和元年 昭和大学病院 外来担当医 (12月31日現在)

			月	火	水	木	金	土
脳 神 経 内 科	午 前	初 ・ 再 診	<一般> 河村 満 小野 賢二郎					
	午 後	再 診	河村 満		<経食道心臓超音波> 水間 啓太			

## 令和元年 昭和大学附属東病院 外来担当医 (12月31日現在)

			月	火	水	木	金	土
脳 神 経 内 科	午 前	初 ・ 再 診	<一般> 稗田 宗太郎 門馬 佑太郎 渡辺 大士	<一般> 矢野 恰 栄 良樹 黒田 岳志	<一般> 稗田 宗太郎 野原 哲人 水間 啓太	<一般> 堀部 有三 兼元みづき 黒田 岳志	<一般> 初診・再診(交代制*)	<一般> 矢野 恰 笠井 英世 杉本 あずさ
	午 後	再 診	渡辺 慶子 <物忘れ外来 (完全予約制)> 交代制*	所澤 任修 <電気生理外来>	南雲 清美 (1週) 水間 啓太	兼元みづき 久保田 恰美 <頭痛外来> 笠井 英世	<電気生理外来> 大野 英樹 (1, 3, 4, 5週)	杉本 あずさ

### 交代制 \* 担当医師

小野 賢二郎  
稗田 宗太郎  
矢野 恰  
黒田 岳志  
笠井 英世  
杉本 あずさ  
二村 明徳  
森 友紀子

### 交代制 \* 担当医師

矢野 恰  
兼元みづき  
黒田 岳志  
笠井 英世  
杉本 あずさ  
水間 啓太  
渡辺 大士  
渡辺 慶子

## 令和元年 外来患者数 (2019年1月~12月)

初診	1995	人
再診	14983	人

### 昭和大学病院 (脳神経内科)

月	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	合計
初診	20	22	25	27	31	30	19	19	22	13	23	21	272
再診	64	58	46	57	59	43	61	43	53	56	47	56	643
合計	84	80	71	84	90	73	80	62	75	69	70	77	915人

### 昭和大学附属東病院 (脳神経内科)

月	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	合計
初診	143	144	163	170	131	167	153	128	142	131	129	122	1723
再診	1191	1105	1173	1226	1133	1261	1359	1250	1167	1205	1077	1193	14340
合計	1,334	1,249	1,336	1,396	1,264	1,428	1,512	1,378	1,309	1,336	1,206	1,315	16,063人

## 病棟より

2019年8月から病棟医長を担当しております。昭和大学病院の脳神経内科の特色の一つは、脳卒中やてんかん、神経感染症のような急性期疾患から認知症、変性疾患、筋・末梢神経疾患に至るまで幅広く診療している点にあります。近年、脳神経内科の分野も診療の細分化が進む中、我々は「脳神経のジェネラリスト」を目指し、日々精進しております。また、診療が浅くならないように、毎週教授回診や症例カンファランスを行い、個々の得意分野の知識を共有して、全員で診断や治療方針の確認を行うよう努めています。病棟は一般班3班に加えて、脳卒中を担当する1班の合計4班体制で診療にあたっております。班は神経内科専門医を含む4~5名で構成されています。複数人で1人の患者さんを担当することは手厚い診療を可能にするとともに、初期臨床研修医や専攻医への十分な教育も意識した診療体制となっております。

日本では高齢化が進む中、神経疾患に罹患する患者さんが増え、脳神経内科の需要は年々大きくなっているように感じます。幸運なことにここ数年、新入医局員もたくさん入り、以前よりも多くの患者さんに対応できるようになってきました。一方で病棟医の仕事量は以前よりも増加し、一般病棟業務のほかに、夜間の当直や日中の救急当番・他科からのコンサルトへの対応などを兼任する病棟医が如何に精神的・身体的に消耗しないようにするかが課題です。近年、各業界で働き方改革が推進されています。その改革の1つとして残業を減らす、有給休暇の積極的利用など「自分の自由な時間の確保」が推奨されていますが、それを達成するのが難しい仕事の1つが「病棟を持つ臨床医」だと思っています。病棟医長の責務は病棟の運営や安全の確保を担うことであるとともに、病棟医がやり甲斐を持って楽しく働けるようにすることだと感じています。「病棟を持つ臨床医」にとっての本当の働き方改革が何なのか、今後も模索し、実行に移せるよう尽力したいと思います。

最後に、病棟に入院した患者さんに寄り添って頂いた看護師の方々、予期せぬ緊急入院にも快くご対応頂いた事務の方々、患者さんの検査に付き添って頂いたヘルパーの方々、転院や在宅調整を行って頂いたソーシャルワーカーの方々には大変お世話になりました。また当院からの転院を快く受け入れてくださるリハビリテーション病院や療養型病院・施設の先生およびスタッフの皆様の存在や、退院後の継続加療をお願いできる地域のクリニックや訪問診療を担う先生方の存在は、大変心強いと感じています。皆様のお力添えあっての大学病院だと思っています。この場を借りて脳神経内科一同、御礼を申し上げます。

病棟医長 黒田岳志

# 病棟（入院患者）

疾患内訳	症例数
<b>血管障害・外傷</b>	
脳梗塞	221
一過性脳虚血発作	17
脳出血	12
一過性全健忘	5
動脈解離による脳梗塞	3
外傷性くも膜下出血	3
脳脊髄液漏出症	3
脳挫傷	3
トルソー症候群	2
海綿状血管腫	2
急性硬膜下血腫	1
脳アミロイド血管症	1
脊髄梗塞	1
頭部外傷	1
<b>認知症</b>	
レビー小体型認知症	13
アルツハイマー病	12
正常圧水頭症	7
前頭側頭葉変性症	1
血管性認知症	1
嗜銀顆粒性認知症	1
その他の認知症	2
<b>神経変性疾患</b>	
パーキンソン病	76
パーキンソン症候群	21
多系統萎縮症	15
脊髄小脳変性症	5
進行性核上性麻痺	3
白質ジストロフィー	2
大脳皮質基底核変性症	1
<b>神経感染症</b>	
ウイルス性髄膜炎・脳炎	41
細菌性髄膜炎	3
クロイツフェルトヤコブ病	1
<b>脱髓・炎症・肉芽腫性疾患</b>	
多発性硬化症	11
自己免疫性脳炎	6
視神経脊髄炎	4
トロサ・ハント症候群	2
急性散在性脳脊髄炎	1
神経ベーチェット病	1
その他の脊髄炎	5
<b>末梢神経疾患</b>	
慢性炎症性脱髓性多発神経根炎	15
ギラン・バレー症候群	9
フィッシュヤー症候群	5
多発性脳神経障害	3
末梢神経障害	1
絞扼性末梢神経障害	1
動眼神経麻痺	1
家族性アミロイドポリニューロパチー	1
視神経炎	1

疾患内訳	症例数
<b>筋・神経筋接合部疾患</b>	
重症筋無力症	12
ジストニア	3
多発性筋炎	3
筋強直性ジストロフィー	2
横紋筋融解症	2
皮膚筋炎	1
封入体筋炎	1
その他のミオパチー	9
<b>運動ニューロン疾患</b>	
筋萎縮性側索硬化症	13
球脊髄性筋萎縮症	1
その他の運動ニューロン疾患	4
<b>発作性・機能性疾患</b>	
てんかん	101
神経障害性疼痛	3
片頭痛	3
群発頭痛	1
三叉神経痛	1
薬物乱用性頭痛	1
<b>腫瘍性疾患</b>	
脳腫瘍	4
<b>脊椎疾患</b>	
頸椎症・頸髄症	4
腰椎症・腰部脊柱管狭窄症	2
<b>内科関連疾患・耳鼻科関連疾患</b>	
市中肺炎・誤嚥性肺炎	22
末梢性めまい	12
尿路感染症	6
敗血症	4
ウェルニッケ脳症	4
電解質異常	2
腎不全	1
失神	1
ペラグラ脳症	1
脱水症	1
悪性症候群	1
<b>その他の疾患</b>	
ミオクローヌス	4
不随意運動	3
精神性疾患	3
レット症候群	2
廃用症候群	1
一酸化炭素中毒	1
薬物中毒	1
アルコール離脱性せん妄	1
その他	10
<b>合 計</b>	<b>799 例</b>

### 【3】症例検討会

日付	年齢	性別	題名	診断	担当医
1月 11 日	16	M	複数の抗てんかん薬に治療抵抗性で、ビデオ脳波モニタリングを行った2歳発症右側頭葉てんかん疑いの16歳男性例	側頭葉てんかん	矢野・兼元・栄・大橋・澤井
1月 18 日	68	M	初診時フィッシャー症候群と診断し、その後抗ガングリオシド抗体陽性のCIDPの診断に至った68歳男性例	慢性炎症性脱髓性多発神経炎	斎藤・森・浅野・石田
1月 25 日	71	M	急性の認知機能障害を認め、両側内包膝部～淡蒼球にMRIで異常信号が出現した71歳男性例	脳梗塞	四郎丸・所澤・門馬・正路
2月 8 日	36	M	悪性症候群にMERSを合併した36歳男性例	悪性症候群、可逆性脳梁膨大部病変を有する軽症脳炎・脳症(MERS)	四郎丸・所澤・門馬・正路
3月 8 日	90	F	急速に進行したパーキンソニズムの原因として橋本脳症との鑑別を要した進行性核上性麻痺の症例	パーキンソン症候群、橋本脳症の疑い	黒田・二村・渡辺慶・小口・小菅
3月 15 日	58	F	皮疹出現後に意識障害が出現し、血清風疹IgMが陽性であり、風疹脳炎が疑われた女性例	ウイルス性脳炎	矢野・兼元・栄・大橋・澤井
3月 29 日	78	M	振戦で発症し、その後精神症状を呈した髄膜脳炎の1例	自己免疫性脳炎の疑い	斎藤・森・浅野・石田
4月 5 日	67	M	ムンプスウイルス感染による一過性脳梁膨大部病変、両側視神経炎を認めた男性例	ムンプスウイルス感染による髄膜脳炎疑い	斎藤・杉本・栄・井藤
4月 12 日	77	M	記憶障害や特徴的な性格変化で発症し、左右差の目立つ画像所見より嗜銀顆粒性認知症を疑う77歳男性例	嗜銀顆粒性認知症の疑い	黒田・二村・門馬・大橋
5月 10 日	80	M	高血糖高浸透圧症候群の治癒後に左上下肢の不随意運動を認めた、PDの80歳男性例	糖尿病性コレア・バリズム	矢野・兼元・渡辺慶・野原・石代
5月 17 日	62	F	不随意運動を認めた低血糖脳症の1例	低血糖脳症	黒田・二村・門馬・大橋・小菅
6月 14 日	13	F	両側眼球運動障害を呈した13歳女性例	Fisher症候群	斎藤・杉本・栄・井藤
6月 28 日	49	M	頭痛とふらつきで発症し、基礎疾患および特徴的なMRI画像から好酸球增多症に伴う多発脳梗塞が疑われた49歳男性例	脳梗塞	笠井・水間・渡辺大・浅野
7月 5 日	65	M	亜急性の経過で認知機能低下及び精神症状を来たした65歳男性の1例	CJD疑い	矢野・兼元・渡辺慶・野原・石代
7月 12 日	41	F	急性自律神経性感覚性ニューロパシーが疑われた41歳女性例	急性自律神経性感覚性ニューロパシー	黒田・二村・門馬・大橋
7月 19 日	65	F	数ヶ月の経過で視力低下および左耳側下方四分盲を来たした65歳女性の1例	自己免疫性視神経炎の疑い	矢野・兼元・渡辺慶・野原・石代
8月 9 日	33	M	発熱・頭痛の出現後に構音障害が出現し、造影MRIにて脳幹部・頸髄周囲に造影傾向を認めた33歳男性例	急性小脳炎	笠井・杉本・栄・井藤
8月 30 日	24	F	Lacosamideが奏功した発作性運動誘発性舞蹈アテトーシスの24歳女性例	発作性運動誘発性舞蹈アテトーシス	笠井・杉本・栄・井藤
9月 20 日	52	F	乳癌による癌性髄膜炎から馬尾症候群を呈した52歳女性例	癌性髄膜炎、馬尾症候群	黒田・二村・門馬・大橋
10月 4 日	20	F	脳梗塞・繰り返すTIAを呈し、脳血管攣縮・脳動脈解離が鑑別された20歳女性例	右被殻梗塞	笠井・杉本・栄・井藤
10月 18 日	68	M	右上下肢の脱力、歩行時のふらつきを呈し、脳MRIで脳幹部から視床に拡散強調画像高信号病変を認めた68歳男性例	脳腫瘍疑い	矢野・兼元・渡辺大・栄・井藤
12月 6 日	79	F	急速に進行する認知症を呈した、癌性髄膜炎による続発性正常圧水頭症の高齢女性例	癌性髄膜炎に伴う続発性正常圧水頭症	矢野・兼元・渡辺大・栄・井藤
12月 13 日	33	F	橋上部から中脳にかけての中脳水道周囲にMRI異常影を認めた33歳女性例	NMO/MS	昭和大学江東豊洲病院症例
12月 20 日	78	F	亜急性の経過で嚥下障害をきたした78歳女性の1例	球麻痺型筋萎縮性側索硬化症	笠井・杉本・渡辺大・野原・石代

## 【4】教育活動

### (1)講義

昭和大学の各学部および看護専門学校の学生に以下の通り講義を行った。

#### 医学部 2年 中枢神経の生理

日付	学習内容	担当
5月14日	脊髄・大脳基底核の機能と障害	稗田 宗太郎
5月21日	大脳皮質・小脳の機能と障害	稗田 宗太郎

#### 医学部 3年 症候学 I

日付	学習内容	担当
4月1日	痙攣・意識障害・失神	栄 良樹

#### 医学部 3年 PBI チュートリアル

日付	学習内容	担当
11月06日	精神医学	兼元 みづき
11月13日	精神医学	兼元 みづき
11月20日	産婦人科	森 友紀子
11月27日	産婦人科	森 友紀子

#### 医学部 3年 系統講義

日付	学習内容	担当
9月24日	てんかん	二村 明徳
10月10日	ミオパチー	黒田 岳志
10月10日	中枢神経感染症	杉本 あづさ

10月15日	認知症の診断と治療	小野 賢二郎
10月15日	頭痛	加藤 大貴
10月17日	脊髄疾患総論	栗城 綾子
10月17日	脊髄疾患各論	杉本 あずさ
10月18日	末梢神経疾患総論	市川 博雄
10月18日	末梢神経疾患各論	市川 博雄
10月21日	高次脳機能障害	二村 明徳
10月21日	大脳基底核障害について	小野 賢二郎
12月20日	脊髄小脳変性症	矢野 怜

#### 医学部4年 医学英語B

日付	学習内容	担当
5月16日	医学英語演習1	杉本 あずさ
5月23日	医学英語演習2	杉本 あずさ
5月30日	医学英語演習3	杉本 あずさ

#### 医学部4年 CBT特別講義

日付	学習内容	担当
7月10日	CBT対策特別講義	稗田 宗太郎

#### 医学部4年 診察技法実習 【旗の台】

日付	学習内容	担当
5月14日	神経系(四肢・末梢)診察	門馬 佑太郎

5月21日	神経系(四肢・末梢)診察	渡辺 慶子
5月28日	神経系(四肢・末梢)診察	二村 明徳
6月4日	神経系(四肢・末梢)診察	門馬 佑太郎
6月11日	神経系(四肢・末梢)診察	渡辺 慶子
6月25日	神経系(四肢・末梢)診察	二村 明徳

医学部4年 診察技法実習 【藤が丘】

日付	学習内容	担当
5月14日	神経系(四肢・末梢)診察	刑部 友祐子
5月21日	神経系(四肢・末梢)診察	刑部 友祐子
5月28日	神経系(四肢・末梢)診察	刑部 友祐子
6月4日	神経系(四肢・末梢)診察	刑部 友祐子
6月11日	神経系(四肢・末梢)診察	刑部 友祐子
6月25日	神経系(四肢・末梢)診察	刑部 友祐子

医学部4年 診察技法実習 【横浜市北部】

日付	学習内容	担当
5月14日	神経系(四肢・末梢)診察	金野 竜太
5月21日	神経系(四肢・末梢)診察	金野 竜太
5月28日	神経系(四肢・末梢)診察	金野 竜太
6月4日	神経系(四肢・末梢)診察	金野 竜太
6月11日	神経系(四肢・末梢)診察	内山 正信
6月25日	神経系(四肢・末梢)診察	内山 正信

## 医学部 4 年 症候学Ⅱ

日付	学習内容	担当
11月9日	意識障害、けいれん	黒田 岳志
1月18日	聴力障害、めまい、耳鳴	栗城 綾子
1月25日	視力障害、視野障害、眼球運動障害	稗田 宗太郎

## 医学部 5 年 症候学Ⅲ

日付	学習内容	担当
4月6日	嚥下障害、誤嚥	黒田 岳志
4月13日	歩行障害、不随意運動、胸背部痛、筋肉痛	大湾 善行
4月13日	運動麻痺、運動失調、筋力低下	稗田 宗太郎
5月11日	感覺障害	黒田 岳志
5月18日	構音障害、失語	矢野 恵
5月18日	頭痛、頭重感	笠井 英世
7月13日	排尿障害	森 友紀子
7月27日	恶心、嘔吐、胸焼け、腹部膨満	栄 良樹
8月24日	糖尿病	杉本 あづさ
9月21日	抑うつ、躁状態、不安、恐怖、睡眠障害	杉本 あづさ
9月21日	思考障害(妄想・脅迫)、記憶障害、幻覚	稗田 宗太郎

## 医学部 6 年 集中講義

日付	学習内容	担当
9月11日	神経内科(総論・各論)	稗田 宗太郎

9月 11 日	神経内科(総論・各論)	稗田 宗太郎
9月 12 日	神経内科(総論・各論)	笠井 英世
9月 12 日	神経内科(総論・各論)	笠井 英世

### 歯学部3年 ヒトの病気

日付	学習内容	担当
6月 19 日	神経筋疾患 2 (神経内科総論)	矢野 怜
6月 26 日	神経筋疾患 3 (頭頸部痛、頭痛・髄膜炎・脳炎)	稗田 宗太郎

### 歯学部4年 高齢者歯科

日付	学習内容	担当
4月 17 日	脳血管障害の概要	稗田 宗太郎
4月 22 日	認知症の概要	矢野 怜
6月 10 日	変性疾患(PD, ALSなど)、MG の概要	稗田 宗太郎

### 薬学部3年 薬と疾病

日付	学習内容	担当
4月 2 日	神経・筋疾患の症候と代表的な疾患	稗田 宗太郎
4月 9 日	脳血管疾患、認知症	稗田 宗太郎
4月 16 日	パーキンソン病	稗田 宗太郎
4月 23 日	てんかん	稗田 宗太郎
5月 10 日	脳腫瘍、脳炎	齋藤 悠

### 保健医療学部 理学・作業療法学科2年生 臨床医学神経内科

日付	学習内容	担当

9月2日	脳神経疾患総論	市川 博雄
9月9日	神経症候の診かた	市川 博雄
9月11日	高次脳機能障害	金野 竜太
9月18日	脳血管障害 総論・各論	神谷 雄己
10月2日	末梢神経疾患 総論・各論	矢野 怜
10月9日	変性疾患(PD, PD類縁疾患・ALS・認知症)	稗田 宗太郎
10月23日	中毒・代謝性疾患	矢野 怜
11月6日	感染性・伝染性疾患・炎症性・自己免疫性疾患	稗田 宗太郎
11月13日	筋疾患・神経筋接合部疾患	金野 竜太
11月20日	脊髄疾患総論 総論・各論	馬場 康彦
11月27日	発作性疾患(頭痛・めまい・てんかん)、脳腫瘍	馬場 康彦

### 看護専門学校 臨床医学

日付	学習内容	担当
1月27日	脳神経内科	石垣 征一郎
2月3日	脳神経内科 2	石垣 征一郎
2月10日	脳神経内科 3	石垣 征一郎

### (2)臨床実習

系統講義、共用試験 OSCE に合格して進級してきた学生に臨床実習が開始されるが、当科においても医学部 4 年の臨床実習(1 週ずつ系統的に全科を回る)を受け入れ、学生指導を行った。

### (3)診療参加型臨床実習

系統的な臨床実習を終了し、その後の総合試験に合格した学生が診療参加型臨床実習(3 ~4 週間を 1 タームとして希望した科を回る)を行う。本実習は医療スタッフの一員として各科に配属され、教室員と学生のコミュニケーションも濃厚となるなど、学生にとって有意義な実習期間である。

## 【5】業 績

### (1) 論文・著書

#### (A) 原著論文

##### a. 英文

Abe K, Shang J, Shi X, Yamashita T, Hishikawa N, Takemoto M, Morihara R, Nakano Y, Ohta Y, Deguchi K, Ikeda M, Ikeda Y, Okamoto K, Shoji M, Takatama M, Kojo M, Kuroda T, Ono K, Kimura N, Matsubara E, Osakada Y, Wakutani Y, Takao Y, Higashi Y, Asada K, Senga T, Lee LJ, Tanaka K. A New Serum Biomarker Set to Detect Mild Cognitive Impairment and Alzheimer's Disease by Peptidome Technology. *J. Alzheimers Dis.* in press.

Arai S, Ikeda H, Kawamo M, Kamiya Y, Mizutani T. Surgical Rescue Retrieval of a Filter Protection Device in Carotid Artery Stenting with Stent Deformation, Case Report and Literature Review. *World Neurosurg.* 122: 215-219, 2019.

Futamura A, Nakamura M, Kawamura M, Sano A, Ono K. Novel VPS13A gene mutations in a South Asian, Indian patient with chorea-acanthocytosis. *Neurology India* in press.

Hase T, Shishido S, Yamamoto S, Yamashita R, Nukima H, Taira S, Toyoda T, Abe K, Hamaguchi T, Ono K, Noguchi-Shinohara M, Yamada M, Kobayashi S. Rosmarinic acid suppresses Alzheimer's disease development by reducing amyloid  $\beta$  aggregation by increasing monoamine secretion. *Sci. Rep.* 9: 8711, 2019.

Ho L, Zhao D, Ono K, Ruan K, Mogno I, Tsuji M, Carry E, Brathwaite J, Sims S, Frolinger T, Westfall S, Mazzola P, Wu Q, Hao K, Lloyd TE, Simon JE, Faith J, Pasinetti GM. Heterogeneity in gut microbiota drive polyphenol metabolism that influences  $\alpha$ -synuclein misfolding and toxicity. *J. Nutr. Biochem.* 64: 170-181, 2019.

Honma M, Itoi C, Midorikawa A, Terao Y, Masaoka Y, Kuroda T, Futamura A, Shiromaru A, Ohta H, Kato N, Kawamura M, Ono K. Contraction of distance and duration production in autism spectrum disorder. *Sci. Rep.* 9: 8806, 2019.

Ito N, Takahashi M, Miwa Y, Kagami S, Hayakawa H, Inaba A, Orimo S. Adult-onset Still's disease presenting with aseptic meningitis as the first symptom in an elderly patient. *eNeurological Sci.* 16: 100202, 2019.

Kinno R, Mori Y, Kubota S, Nomoto S, Futamura A, Shiromaru A, Kuroda T, Yano S, Ishigaki S, Murakami H, Baba Y, Ono K. High serum high-density lipoprotein-cholesterol is associated with memory function and gyration of insular and frontal opercular cortex in an elderly memory-clinic population. *Neuroimage Clin.* 22: 101746, 2019.

Kuroda T, Honma M, Mori Y, Futamura A, Sugimoto A, Yano S, Kinno R, Murakami H, Ono K. Increased Presence of Cerebral Microbleeds Correlates with Ventricular Enlargement and Increased White Matter Hyperintensities in Alzheimer's Disease. *Front Aging Neurosci.* in press.

Trageser KJ, Smith C, Herman FJ, Ono K, Pasinetti GM. Mechanisms of Immune Activation by c9orf72-Expansions in Amyotrophic Lateral Sclerosis and Frontotemporal Dementia. *Front. Neurosci.* in press.

Murakami H, Tokuda T, El-Agnaf OMA, Ohmichi T, Miki A, Ohashi H, Owan Y, Saito Y, Yano S, Tsukie T, Ikeuchi T, Ono K. Correlated levels of cerebrospinal fluid pathogenic proteins in drug-naïve Parkinson's disease. *BMC Neurol.* 19: 113, 2019.

Nagayama H, Kano O, Murakami H, Ono K, Hamada M, Toda T, Sengoku R, Shimo Y, Hattori N. Effect of istradefylline on mood disorders in Parkinson's disease. *J. Neurol. Sci.* 396: 78-83, 2019.

Nomoto S, Kinno R, Ochiai H, Kubota S, Mori Y, Futamura A, Sugimoto A, Kuroda T, Yano S, Murakami H, Shirasawa T, Yoshimoto T, Minoura A, Kokaze A, Ono K. The relationship between thyroid function and cerebral blood flow in mild cognitive impairment and Alzheimer's disease. *PLoS One* 14: e0214676, 2019.

Ono K, Zhao D, Wu Q, Simon J, Wang J, Radu A, Pasinetti GM. Pine Bark Polyphenolic Extract Attenuates Amyloid- $\beta$  and Tau Misfolding in a Model System of Alzheimer's Disease Neuropathology. *J. Alzheimers Dis.* in press.

Sato M, Matsumaru Y, Amano T, Kamiya Y. Orbital Arteriovenous Fistula around the Optic Nerve Treated by Transvenous Embolization. *Turk. Neurosurg.* 29: 303-305, 2019.

Sugimoto A, Kuroda T, Tsuda H, Ono K. Three-dimensional imaging of Abducens Palsy by Neurovascular Compression. *Intern. Med.* in press.

Sugimoto A, Kinno R, Ito N, Ono K. The Cerebellar Leptomeningeal Enhancement Associated with Cryptococcal Meningitis. *Intern. Med.* 58: 149-150, 2019.

Suzuki K, Kimura K, Takeuchi M, Morimoto M, Kanazawa R, Kamiya Y, Shigeta K, Ishii N, Takayama Y, Koguchi Y, Takigawa T, Hayakawa M, Ota T, Okubo S, Naito H, Akaji K, Kato N, Inoue M, Hirano T, Miki K, Ueda T, Iguchi Y, Fujimoto S, Otsuka T, Matsumaru Y. The randomized study of endovascular therapy with versus without intravenous tissue plasminogen activator in acute stroke with ICA and M1 occlusion (SKIP study). *Int. J. Stroke.* 14: 752-755, 2019.

Suzuki F, Sato N, Ota M, Sugiyama A, Shigemoto Y, Morimoto E, Kimura Y, Wakasugi N, Takahashi Y, Futamura A, Kawamura M, Ono K, Nakamura M, Sano A, Watanabe M, Matsuda H, Abe O. Discriminating chorea-acanthocytosis from Huntington's disease with single-case voxel-based morphometry analysis. *J. Neurol. Sci.* in press.

Ueno Y, Tateishi Y, Doijiri R, Kuriki A, Shimizu T, Kikuno M, Shimada Y, Takekawa H, Yamaguchi E, Koga M, Kamiya Y, Ihara M, Tsujino A, Hirata K, Toyoda K, Hasegawa Y, Hattori N, Urabe T. Large aortic arch plaques correlate with CHADS2 and CHA2DS2-VASc scores in cryptogenic stroke. *Atherosclerosis* 284: 181-186, 2019.

Yasumoto T, Takamura Y, Tsuji M, Watanabe-Nakayama T, Imamura K, Inoue H, Nakamura S, Inoue T, Kimura A, Yano S, Nishijo H, Kiuchi Y, Teplow DB, Ono K. High molecular weight amyloid  $\beta$ (1-42) oligomers induce neurotoxicity via plasma membrane damage. *FASEB J.* 33, 9220-9234, 2019.

## b. 和文

石井正和, 加藤大貴, 今若楽明, 笠井英世, 石橋正祥 : スマトリプタン点鼻薬による群発頭痛の治療効果. *YAKUGAKU ZASSHI* 139: 107-111, 2019.

栗城綾子, 山上 宏, 斎藤こずえ, 殿村修一, 福間一樹, 吉本武史, 阿部宗一郎, 東 将浩, 高橋 淳, 豊田一則, 長東一行 : 超音波ドプラ法による内頸動脈狭窄診断に石灰化病変が及ぼす影響. *脳卒中* 41: 171-176, 2019.

栗城綾子, 神谷雄己, 宮内淑史, 水間啓太, 小室浩康, 福田早織, 藤井隆史, 河面倫有, 新井晋太郎, 池田尚人, 小野賢二郎 : 上位頸髄梗塞をきたした 69 歳男性例.

*Journal of Japan Society of Neurological Emergencies & Critical Care* 31: 63-68, 2019.

馬場康彦, 高橋聖也, 小野賢二郎 : 本邦における新規 MAO-B 阻害薬ラサギリンの長期使用経験<第 1 報>. *Geriatric Medicine* 57: 983-987, 2019.

(B) 総説論文

a. 英文

Ono K, Tsuji M. Pharmacological Potential of Cilostazol for Alzheimer's Disease. *Front. Pharmacol.* 10: 559, 2019.

Ono K, Tsuji M. Protofibrils of Amyloid- $\beta$  are Important Targets of a Disease-Modifying Approach for Alzheimer's Disease. *Int. J. Mol. Sci.* in press.

b. 和文

小野賢二郎 : 将来の認知症医療を見据えて 認知症領域におけるプロテイノパチーの病因解明 up to date. *老年精神医学雑誌*, ワールドプランニング, 東京, 印刷中

小野賢二郎 : 診断バイオマーカーとしての  $\alpha$  シヌクレイン. *BRAIN and NERVE*, 医学書院, 東京, 印刷中

黒田岳志, 小野賢二郎 : 神経内科学のトピックス アルツハイマー病における brain lymphatic drainage system の障害. *認知症の最新医療* 9: 212-213, 2019.

杉本あずさ, 小野賢二郎 : A $\beta$  凝集制御薬. *認知症の最新医療* 9: 138-142, 2019.

杉本あずさ, 小野賢二郎 : 次世代の抗認知症薬の開発状況 抗アミロイド $\beta$  系薬剤. *老年精神医学雑誌* 30: 653-662, 2019.

(C) 著書

a. 英文

なし

b. 和文

神谷雄己 : 昭和大学の「医師の働き方改革」(第 4 回) 働き方を意識した医師のシフト表作成. 小林正明編 病院羅針盤. 産労総合研究所, 東京, 64-69, 2019.

神谷雄己：脳画像 基本のみかた 疾患別読影ポイント. 水間正澄, 川手信行編 リハビリテーション医療に活かす画像のみかた. 南江堂, 東京, 56-63, 2019.

栗城綾子：症例3 脳梗塞③延髓外側梗塞 医師による画像診断と治療. 水間正澄, 川手信行編 リハビリテーション医療に活かす画像のみかた. 南江堂, 東京, 69, 2019.

兼元みづき, 小野賢二郎：睡眠障害. レビ一 小体型認知症診療ハンドブック. 山田正仁監 小野賢二郎編 フジメディカル出版, 大阪, 58, 2019.

久保田怜美, 金野竜太, 小野賢二郎：認知機能障害. レビ一 小体型認知症診療ハンドブック. 山田正仁監 小野賢二郎編 フジメディカル出版, 大阪, 41, 2019.

黒田岳志, 小野賢二郎：自律神経症状. レビ一 小体型認知症診療ハンドブック. 山田正仁監 小野賢二郎編 フジメディカル出版, 大阪, 44-46, 2019.

杉本あずさ, 小野賢二郎：抗精神病薬に対する過敏性. レビ一 小体型認知症診療ハンドブック. 山田正仁監 小野賢二郎編 フジメディカル出版, 大阪, 62, 2019.

杉本あずさ, 小野賢二郎：レビ一 小体型認知症. 神経疾患を診るロジックと薬の使い方（仮）. 藤本茂編, じほう, 東京, 印刷中

高松幸子, 神谷雄己：脳神経領域の治療 脳梗塞急性期脳血栓回収術. 野口純子編 メディカテ2. メディカ出版, 大阪, 79-87, 2019.

寺田友昭, 梅寄有砂, 神谷雄己：一見簡単そうに見える傍前床突起部動脈瘤の1例. 寺田友昭編 脳神経血管内治療 次の一 手. メディカ出版, 大阪, 31-39, 2019.

寺田友昭, 神谷雄己：治療に難渋した左横静脈洞-S状静脈洞硬膜動静脈シャントの1例. 寺田友昭編 脳神経血管内治療 次の一 手. メディカ出版, 大阪, 193-202, 2019.

稗田宗太郎, 小野賢二郎：精神症状. レビ一 小体型認知症診療ハンドブック. 山田正仁監 小野賢二郎編 フジメディカル出版, 大阪, 47, 2019.

稗田宗太郎, 小野賢二郎：アルツハイマー病. 神経疾患を診るロジックと薬の使い方（仮）. 藤本茂編, じほう, 東京, 印刷中

二村明徳, 小野賢二郎：アパシー, 不安, うつ症状. レビ一 小体型認知症診療ハンドブック. 山田正仁監 小野賢二郎編 フジメディカル出版, 大阪, 54, 2019.

二村明徳, 小野賢二郎：聴覚性失認. 実践 高次脳機能障害のみかた. 小林俊輔編, 中外医学社, 東京, 85-96, 2019.

水間啓太：実際に患者さんの画像をみてみよう～脳～ 症例 1 脳梗塞（1） 放線冠梗塞 医師による画像診断と治療 水間正澄, 川手信行編 リハビリテーション医療に活かす画像の見方, 南江堂, 東京, 64-65, 2019.

森 友紀子, 小野賢二郎：幻視以外の幻覚. レビーア小体型認知症診療ハンドブック. 山田正仁監 小野賢二郎編 フジメディカル出版, 大阪, 52, 2019.

矢野 怜, 小野賢二郎：幻視. レビーア小体型認知症診療ハンドブック. 山田正仁監 小野賢二郎編 フジメディカル出版, 大阪, 50, 2019.

#### (D) 研究報告書

なし

#### (E) その他（一般向け著書等を含む）

##### a. 英文

なし

##### b. 和文

小野賢二郎：特集アルツハイマー型認知症の疾患修飾薬の開発 臨床治験はどの段階を迎えてるか 特集にあたって. 認知症の最新医療 9, 東京, 125, 2019.

#### (2) 学会・研究会等

##### (A) 特別講演/招待講演/教育講演

###### a. 国際学会, シンポジウム

Ono K. Alzheimer's disease: The Approach for disease modification, 49th Annual Meeting of Japanese Society of Neuropsychopharmacology, 6th Congress of Asian College of Neuropsychopharmacology, 29th Annual Meeting of Japanese Society of Clinical Neuropsychopharmacology, Fukuoka, 2019.10.11-13

###### b. 国内学会, 研究会, シンポジウム

小野賢二郎：原子間力顕微鏡および電子顕微鏡によるアミロイド構成蛋白質凝集の観察. 医学生物学電子顕微鏡技術学会第35回学術講演会（ワークショップ），名古屋, 2019.5.10-12

小野賢二郎：アルツハイマー病発症機序解明の現状と先制医療の展望. 第 10 回日本脳血管・認知症学会総会, 東京, 2019.8.3

小野賢二郎：フェノール化合物に焦点を当てたアルツハイマー病に対する疾患就職へのアプローチ. 第 9 回日本認知症予防学会学術集会, 名古屋, 2019.10.18-20

小野賢二郎：アルツハイマー病：疾患修飾へのアプローチ. 第 24 回日本神経精神医学回学術集会, 山形, 2019.10.25-26

小野賢二郎：シヌクレイノパチーの病態に基づいた疾患修飾へのアプローチ. 第 37 回日本神経治療学会, 横浜, 2019.11.5-7

小野賢二郎：アルツハイマー型認知症 疾患修飾へのアプローチを考える. 第 38 回日本認知症学会学術集会, 東京, 2019.11.7-9

小野賢二郎：認知症に挑む. 日本情動学会第 9 回大会, 東京, 2019.12.14-15

神谷雄己, 栗城綾子, 宮内淑史, 水間啓太, 井藤尚仁, 小室浩康, 福田早織, 藤井隆史, 河面倫有, 新井晋太郎, 池田尚人, 小野賢二郎：再開通療法における院内時短の現状と課題－無理していませんか？－. 第 44 回日本脳卒中学会学術集会, 横浜, 2019.3.21-23

神谷雄己：血管内治療ハンズオン講師. 第 60 回日本神経学会学術大会 第 16 回生涯教育セミナー, 大阪, 2019.5.25

神谷雄己, 宮内淑史, 栗城綾子, 小室浩康, 福田早織, 藤井隆史, 加藤悠太, 和田隆秀, 阪本 有, 山口巖史, 池田尚人：ヒアラブル端末（装着型通話端末）が患者と血管内治療医を救う. 第 35 回日本脳神経血管内治療学会学術総会, 福岡, 2019.11.21-23

神谷雄己：血栓回収療法に必要な基礎知識（病型診断, 術後管理, 再発予防など）. 第 35 回日本脳神経血管内治療学会学術総会, 福岡, 2019.11.21-23

金野竜太：fMRI による言語機能マッピング. 第 21 回日本脳機能マッピング学会, 東京, 2019.3.15-16

栗城綾子：塞栓源としての卵円孔開存診断. 第 6 回日本心血管脳卒中学会学術集会, 東京, 2019.6.28-29

栗城綾子：早期各科連携のための卵円孔開存診断～TC-CFI を活用する. 第 22 回日本栓子検出と治療学会, 岩手, 2019.10.18-19

二村明徳：知能（認知機能）検査の診かた. 第60回日本神経学会学術大会・第16回生涯教育セミナー高次脳機能障害, 大阪, 2019.5. 22-25.

二村明徳：失行のみかた. 第43回日本高次脳機能障害学会学術総会 神経心理学入門 教育セミナー, 仙台, 2019.11.27-28.

馬場康彦：認知症の診療～メマンチンの特徴について～. 第38回日本認知症学術集会, 東京, 2019.11.7-9

#### (B) 一般演題

##### a. 国際学会, シンポジウム

Futamura A, Long T, Kinno R, Hanazuka Y, Midorikawa A, Masaoka Y, Miller W, Kawamura M, Kitazawa S, Ono K. Assessment of linguistic time perception in dementia, The 14th International Conference on Alzheimer's and Parkinson's Diseases, Lisbon, 2019.3.26-31

Kuroda T, Mori Y, Futamura A, Shiromaru A, Yano S, Kinno R, Murakami H, Ono K. Relationship between cerebral microbleeds and cerebral spinal fluid circulation in Alzheimer's disease. The 14th International Conference on Alzheimer's and Parkinson's Diseases, Lisbon, 2019.3.26-31

Iizuka N, Masaoka Y, Yoshida M, Manabe R, Kamagata K, Takenaka Y, Okuda K, Yoshikawa A, Kubota S, Ida M, Izumizaki M. Hippocampus abnormalities evaluated by density imaging in COPD patients, The 9th Federation of the Asian and Oceanian Physiological Societies Congress, Kobe, 2019.3.28-31

Ono K, Yasumoto T, Takamura Y, Tsuji M, Watanabe-Nakayama T, Imamura K, Inoue H, Nakamura S, Inoue T, Kimura A, Yano S, Nishijo H, Kiuchi Y, Teplow DB. High molecular weight amyloid  $\beta$ (1-42) oligomers induce neurotoxicity via plasma membrane damage, The Protein Aggregation Conference From Structure to In Vivo Sequelae, Snowmass Village, Colorado, 2019.6.9-14

Ono K, Shozawa H, Oguchi T, Tsuji M, Yano S, Kiuchi Y. Supratherapeutic concentrations of cilostazol inhibits  $\beta$ -amyloid oligomerization in vitro, Alzheimer's Association International Conference AAIC2019, Los Angeles, 2019.7.14-18

Shozawa H, Oguchi T, Tsuji M, Yano S, Kiuchi Y, Ono K. Supratherapeutic concentrations of cilostazol inhibits  $\beta$ -amyloid oligomerization in vitro, The 14th International Conference on Alzheimer's and Parkinson's Diseases, Lisbon, 2019.3.26-31

Yano S, kinno R, Futamura A, Shiromaru A, Kuroda T, Murakami H, Ono K. Hemoglobin and hematocrit levels are sensitive to functional imaging abnormalities in patients with memory loss, Alzheimer's Association International Conference AAIC2019, Los Angeles, 2019.7.14-18

#### b. 国内学会、研究会、シンポジウム

飯塚奈都子, 政岡ゆり, 井田正博, 眞鍋亮, 吉田正樹, 吉川輝, 小岩信義, 久保田怜美, 本間元康, 小野賢二郎, 泉崎雅彦 : 慢性閉塞性肺疾患患者における海馬サブ領域体積の測定 第47回日本磁気共鳴医学会大会, 熊本, 2019.9.20-22

石田敦士, 小菅将太, 浅野未希, 大橋英朗, 森友紀子, 笠井英世, 稔田宗太郎, 小野賢二郎 : 脳梗塞を契機に発見された成人単純型大動脈縮窄症の1例. 第229回日本神経学会関東・甲信越地方会, 東京, 2019.6.01

井藤尚仁, 笠井英世, 柿沼佑樹, 高見礼示, 栄良樹, 杉本あづさ, 稔田宗太郎, 小野賢二郎 : Lacosamide が奏功した発作性運動誘発性舞蹈アテトーシスの24歳女性例. 第231回日本神経学会関東・甲信越地方会, 東京, 2019.12.12

刑部祐友子, 高橋聖也, 黒川信二, 大湾喜行, 金野竜太, 小野賢二郎, 馬場康彦 : IgG型M蛋白血症と感覚性失調性軸索型ニューロパチーを伴った非全身性血管炎ニューロチーの56歳女性例. 第228回日本神経学会関東・甲信越地方会, 東京, 2019.3.2

大湾喜行, 刑部祐友子, 高橋聖也, 黒川信二, 金野竜太, 馬場康彦, 村上秀友, 小野賢二郎 : パーキンソン病の運動症状と重心動搖計の計測結果との関連について. 第60回日本神経学会学術大会, 大阪, 2019.5.22-25

大湾喜行, 高橋聖也, 刑部祐友子, 黒川信二, 金野竜太, 小野賢二郎, 馬場康彦 : パーキンソン病患者におけるMIBG心筋シンチグラフィと左室拡張能との関連. 第13回パーキンソン病・運動障害疾患コングレス, 東京, 2019.7.25-27

笠井英世, 政岡ゆり, 小野賢二郎, 泉崎雅彦, 本間生夫 : 片頭痛患者における痛み刺激による不安呼吸関連電位とその電源推定 第9回日本情動学会大会, 東京, 2019.12.14-15

木村篤史, 金野竜太, 二村明徳, 野元祥平, 久保田怜美, 森 友紀子, 杉本あずさ, 黒田岳志, 矢野 怜, 村上秀友, 小野賢二郎 : Effects of vitamin B12 on memory function in elderly patients. 第 60 回日本神経学会学術大会, 大阪, 2019.5.22-25

金野竜太, 刑部祐友子, 高橋聖也, 黒川信二, 大湾喜行, 清水 潤, 小野賢二郎, 馬場康彦 : 病理学的に免疫性機序の関与が想定された再発性高 CK 血症を伴った視神経脊髄炎の一例. 第 60 回日本神経学会学術大会, 大阪, 2019.5.22-27

久保田怜美, 政岡ゆり, 飯塚奈都子, 眞鍋 亮, 吉川 輝, 吉田正樹, 金野竜太, 井田正博, 小野賢二郎, 泉崎雅彦 : 高齢者における脳局所体積と認知機能・嗅覚機能. 第 38 回日本認知症学会学術集会, 東京, 2019.11.7-9

加藤悠太, 栗城綾子, 福田早織, 和田隆秀, 藤井隆史, 小室浩康, 田中健一郎, 宮内淑史, 神谷雄己, 小野賢二郎 : 嘸下障害を伴った AICA 症候群の 65 歳男性例. 第 231 回日本神経学会関東・甲信越地方会, 東京, 2019.12.7

神谷雄己, 宮内淑史, 栗城綾子, 小室浩康, 福田早織, 藤井隆史, 加藤悠太, 和田隆秀 : 椎骨動脈狭窄に随伴した浮遊血栓の遠位塞栓予防. 第 16 回日本脳神経血管内治療学会関東地方会, 東京, 2019.6.15

神谷雄己, 宮内淑史, 栗城綾子, 小室浩康, 福田早織, 藤井隆史, 加藤悠太, 和田隆秀, 阪本 有, 山口巖史, 池田尚人 : First pass と TICI3 を意識した血栓回収療法. 第 35 回日本脳神経血管内治療学会学術総会. 福岡, 2019.11.21.23

栗城綾子, 上野祐司, 立石洋平, 土井尻遼介, 清水高弘, 菊野宗明, 島田佳明, 竹川英宏, 山口枝里子, 古賀政利, 神谷雄己, 辻野 彰, 平田幸一, 猪原匡史, 豊田一則, 長谷川泰弘, 服部信孝, 卜部貴夫 : 潜因性脳梗塞における心房中隔瘤の臨床的意義 : CHALLENGE ESUS/CS レジストリー. 第 44 回日本脳卒中学会学術集会, 横浜, 2019.3.21-23

栗城綾子, 神谷雄己, 藤井隆史, 福田早織, 井藤尚仁, 小室浩康, 水間啓太, 宮内淑史, 小野賢二郎 : 大動脈粥腫の長期観察における経時的变化 : 可動性粥腫と粥腫厚, 潰瘍長の関連. 第 8 回日本脳神経超音波学会総会, 奈良, 2019.6.7-8

黒田岳志, 小菅将太, 小口達敬, 森 友紀子, 二村明徳, 杉本あずさ, 矢野 怜, 金野竜太, 村上秀友, 小野賢二郎 : アルツハイマー病における脳小血管病と脳脊髄液循環障害の関連について. 第 60 回日本神経学会学術大会, 大阪, 2019.5.22-25

小菅将太, 黒田岳志, 小口達敬, 二村明徳, 小野賢二郎 : Trouseau 症候群に伴う脳梗塞における直接経口抗凝固薬の有用性についての検討. 第 60 回日本神経学会学術大会, 大阪, 2019.5.22-25

小室浩康, 宮内淑史, 福田早織, 藤井隆史, 井藤尚仁, 水間啓太, 栗城綾子, 神谷雄己, 小野賢二郎 : 眼球運動時痛と複視を主訴とし脳幹異常信号を呈した抗 GQ1b 抗体陽性の 35 歳女性例. 第 228 回日本神経学会関東・甲信越地方会, 東京, 2019.3.2

澤井綾子, 齋藤 悠, 山本 謙, 門馬佑太郎, 小口達敬, 渡辺大士, 小野賢二郎 : エンテロウイルス感染を契機に発症した抗 MOG 抗体陽性視神経脊髄炎の 63 歳女性例. 第 228 回日本神経学会関東・甲信越地方会, 2019.3.2

杉本あづさ, 水間啓太, 正路大樹, 門馬佑太郎, 所澤任修, 稔田宗太郎, 小野賢二郎 : 淡蒼球性認知症一睡眠時無呼吸症候群を背景とした 1 例と文献レビュー. 第 9 回日本情動学会大会, 東京, 2019.12.14-15

野元祥平, 金野竜太, 森 友紀子, 二村明徳, 杉本あづさ, 黒田岳志, 矢野 恵, 村上秀友, 落合裕隆, 小風 曜, 小野賢二郎 : アルツハイマー型認知症, 軽度認知障害における甲状腺機能と脳血流量の関連の検討. 第 38 回日本認知症学会学術集会, 東京, 2019.11.7-9

馬場康彦 : 神経変性疾患と糖尿病について. 第 27 回糖尿病内分泌研究会, 横浜, 2019.6.11

馬場康彦 : パーキンソン病の治療～より良い経過のために出来ることとは～. パーキンソン病治療懇話会, 横浜, 2019.7.31

稟田宗太郎, 二村明徳, 杉本あづさ, 笠井英世, 黒田岳志, 矢野 恵, 小野賢二郎 : もの忘れ外来における超高齢初診患者の傾向と神経原線維型老年期認知症の可能性. 第 60 回日本神経学会総会, 大阪, 2019.5.22-25

稟田宗太郎, 森 友紀子, 二村明徳, 杉本あづさ, 笠井英世, 黒田岳志, 矢野 恵, 小野賢二郎 : もの忘れ外来における超高齢初診患者の傾向と神経原線維型老年期認知症の可能性. 第 37 回日本神経治療学会総会, 横浜, 2019.11.5-7

稟田宗太郎, 森 友紀子, 二村明徳, 杉本あづさ, 笠井英世, 黒田岳志, 矢野 恵, 小野賢二郎 : もの忘れ外来における超高齢初診患者の傾向と神経原線維型老年期認知症の可能性. 第 38 回日本認知症学会学術集会, 東京, 2019.11.7-9

福田早織, 栗城綾子, 水間啓太, 三木綾子, 和田隆秀, 加藤悠太, 藤井隆史, 小室浩康, 宮内淑史, 神谷雄己, 小野賢二郎 : 高位内頸動脈の不安定プラークに対して経口腔頸部血管超音波検査での経時的变化を観察した 57 歳男性例. 第 22 回日本栓子検出と治療学会, 岩手, 2019.10.18-19

藤井隆史, 栗城綾子, 加藤悠太, 和田隆秀, 福田早織, 小室浩康, 宮内淑史, 神谷雄己, 水間啓太, 小野賢二郎: 生体弁弁輪部膿瘍を合併した脳膿瘍の一例. 第 229 回日本神経学会関東・甲信越地方会, 東京, 2019.6.1

二村明徳, 小山慎一, 大橋英朗, 三木綾子, 小口達敬, 小野賢二郎: 右脳静脈洞塞栓後の顔中心部の相貌変形視例. 第 24 回日本神経精神医学学術集会, 山形, 2019.10.25-26.

二村明徳, 森 友紀子, 四郎丸あづさ, 黒田岳志, 笠井英世, 矢野 恵, 稔田宗太郎, 小野賢二郎: AD と DLB の海馬萎縮の違い: 臨床・画像の検討. 第 60 回日本神経学会学術大会, 大阪, 2019.5.22-25.

水間啓太, 栗城綾子, 福田早織, 藤井隆史, 小室浩康, 井藤尚仁, 宮内淑史, 神谷雄己, 小野賢二郎: 大動脈可動性巨大病変が抗凝固療法により消失した急性期脳梗塞の 53 歳女性例. 第 38 回日本脳神経超音波学会総会, 奈良, 2019.6.7

宮内淑史, 神谷雄己, 福田早織, 藤井隆史, 小室浩康, 水間啓太, 栗城綾子, 新井晋太郎, 池田尚人, 河面倫有, 小野賢二郎: 第一選択としての経橈骨動脈アプローチによる頸動脈ステント留置術の後方視的検討. 第 44 回日本脳卒中学会学術集会, 横浜, 2019.3.21-23

宮内淑史, 神谷雄己, 栗城綾子, 福田早織, 藤井隆史, 小室浩康, 水間啓太, 新井晋太郎, 池田尚人, 河面倫有: 第一選択としての経橈骨動脈アプローチによる頸動脈ステント留置術の後方視的検討. 第 16 回日本脳神経血管内治療学会関東地方会, 東京, 2019.6.15

宮内淑史, 神谷雄己, 栗城綾子, 加藤悠太, 和田隆秀, 福田早織, 藤井隆史, 小室浩康, 田中健一郎: 脳血管造影・脳血管内治療における遠位橈骨動脈アプローチ. 第 1 回日本脳神経内科血管治療研究会, 大阪, 2019.9.14

宮内淑史, 神谷雄己, 栗城綾子, 小室浩康, 福田早織, 藤井隆史, 加藤悠太, 和田隆秀, 阪本 有, 山口巖史, 池田尚人: 軽症脳梗塞で発症した主幹動脈狭窄・閉塞症の臨床的増悪の予測. 第 35 回日本脳神経血管内治療学会学術総会, 福岡, 2019.11.21.23

森 友紀子, 石田敦士, 浅野未希, 栄 良樹, 斎藤 悠, 黒田岳志, 稔田宗太郎, 小野賢二郎: ニボルマブに誘発された筋炎の 70 歳男性例. 第 230 回日本神経学会関東・甲信越地方会, 東京, 2019.9.7

森 友紀子, 宮之原麻衣, 二村明徳, 杉本あづさ, 笠井英世, 黒田岳志, 矢野 恵, 稔田宗太郎, 小野賢二郎: ボランティア活動は認知症患者の社会参加の機会となり得るか. 第 38 回日本認知症学会学術集会, 東京, 2019.11.7-9

安本太郎, 高村雄策, 辻 まゆみ, 中山隆宏, 今村恵子, 井上治久, 中村史朗, 井上富雄, 木村篤史, 矢野 恵, 西条寿夫, 木内祐二, デービッド・テプロフ, 小野賢二郎：高分子 A $\beta$  オリゴマーは細胞膜傷害を介して神経細胞毒性を発揮する. 第 39 回日本認知症学会学術集会, 東京, 2019.11.7-9

渡辺大士：脳神経内科外来での漢方薬の使用経験. 第 196 回昭和大学東洋医学研究会, 東京, 2019.3.14

渡辺大士：脳神経内科外来での漢方薬の使用経験. 第 204 回昭和大学東洋医学研究会, 東京, 2019.12.11

和田隆秀, 宮内淑史, 加藤悠太, 藤井隆史, 福田早織, 小室浩康, 栗城綾子, 神谷雄己, 小野賢二郎：中咽頭癌の経過中に発症した A 群溶血性連鎖球菌性髄膜炎の一例. 第 230 回日本神経学会関東・甲信越地方会, 東京, 2019.9.7

和田隆秀, 宮内淑史, 加藤悠太, 藤井隆史, 福田早織, 小室浩康, 栗城綾子, 神谷雄己, 小野賢二郎：中咽頭癌の経過中に発症した A 群溶血性連鎖球菌性髄膜炎の一例. 第 24 回日本神経感染症学会総会学術大会, 東京, 2019.10.11

#### (C) 研究班：班会議等

小野賢二郎： $\alpha$ -synuclein 凝集に着目した疾患修飾へのアプローチ. 日本医療研究開発機構 令和元年度 脳科学研究戦略推進プログラム レビー小体型認知症 (DLB) の病原性蛋白質  $\alpha$  シヌクレインの新規診断・治療効果判定法の開発, 神戸  $\alpha$  シヌクレインシンポジウム 2019, 神戸, 2019.12.29

Futamura A, Kinno R, Long T, Midorikawa A, Masaoka Y, Michael. W. Miller, Kawamura M, Kitazawa S, Ono K: Assessment of linguistic time perception in dementia. 文部科学省科学研究費補助金新学術領域研究時間生成学, 2018 年度第 2 回領域会議, 松山, 2019.2.2-3

二村明徳, 嶋田珠巳, 河村 満, 小野賢二郎：認知症に残存する時間認知の探索. 文部科学省科学研究費補助金新学術領域研究時間生成学, 2019 年度第 1 回領域会議, 札幌, 2019.8.20-21

#### (D) 他大学での講義

小野賢二郎：神経系の変性疾患 認知症. 国立大学法人富山大学, 富山, 2019.5.9

## (E) 市民講座, セミナー, 研修会等

浅野未希：再発を繰り返す Guillain-Barré 症候群/Fisher 症候群と CIDP の鑑別を要した 1 例. 第 4 回城南神経疾患フォーラム, 東京, 2019.3.15

井藤尚仁, 齋藤 悠, 稔田宗太郎, 小野賢二郎 : パーキンソン病と鑑別を要した多系統萎縮症の検討. 第 3 回みなと・品川神経セミナー, 東京, 2019.7.9

大橋英朗, 門馬佑太郎, 二村明徳, 黒田岳志, 稔田宗太郎, 小野賢二郎 : 経過中に painful legs and moving toes を呈したニューロパチーの一例. 第 13 回神経免疫の集い, 東京, 2019.9.5

大湾喜行 : 当科における Lewy 小体型認知症の自験例. DLB セミナー in 横浜北部, 横浜, 2019.1.16

小野賢二郎 : レビ一小体病 : 疾患修飾へのアプローチ. DBL セミナー in 阪神, 西宮, 2019.1.17

小野賢二郎 : アルツハイマー病 : 疾患修飾へのアプローチ. 横浜北部認知症治療懇話会, 横浜, 2019.1.24

小野賢二郎 : アルツハイマー型認知症の診断と治療戦略. 第 7 回認知症クリニカルネットワーク, 広島, 2019.1.31

小野賢二郎 : オリゴマーフラクションに基づいたアルツハイマー病への治療アプローチ. Alzheimer's disease Frontier 2019, 東京, 2019.2.14

小野賢二郎 : アルツハイマー病発症機序解明の現状と先制医療の展望. 平成 30 年度老人保健施設事業推進費等補助金公開シンポジウム 日本における認知症研究の最前線, 名古屋, 2019.2.24

小野賢二郎 : Clinical Experience Sharing in Dementia Diagnosis and Management. EMPOWERING NEUROLOGYS FUTURE 2019, Shanghai, 2019.3.2

小野賢二郎 : レミニールの有効性と安全性, 最新の認知症治療について. 富士北麓エリア認知症治療講演会, 山梨, 2019.3.4

小野賢二郎 : Parkinson 病の初期治療におけるラザギリンの可能性. Takeda Parkinson's Disease Web Symposium, 東京, 2019.3.11

小野賢二郎 : アルツハイマー病 疾患へのアプローチ. 認知症医学研修会, 津, 2019.3.14

小野賢二郎：アルツハイマー病とは？第5回草加医療と介護認知症セミナー，草加，2019.3.16

小野賢二郎：レビー小体病：疾患修飾へのアプローチ。DLBセミナーin 大阪，堺，2019.3.30

小野賢二郎：認知症とは何か 加齢による物忘れとの違いは。認知症予防財団勉強会，東京，2019.4.4

小野賢二郎：レビー小体病：疾患修飾へのアプローチ。第21回七隈アルツハイマー病・パーキンソン病研究会，福岡，2019.4.13

小野賢二郎：アルツハイマー型認知症の診断と治療。レミニール発売8周年記念講演会 in Tokyo，東京，2019.4.15

小野賢二郎：認知症領域におけるプロティノパチーの病院解明 up to date. アルツハイマー病研究会第20回学術シンポジウム，東京，2019.4.20

小野賢二郎：レビー小体病：疾患修飾へのアプローチ。第19回北勢神経フォーラム，四日市市，2019.5.10

小野賢二郎：オリゴマー仮説に基づいたアルツハイマー病への治療アプローチ。フォーラム富山「創薬」第49回研究会，富山市，2019.5.10

小野賢二郎：レビー小体病：疾患修飾へのアプローチ。FP conference，東京，2019.5.30

小野賢二郎：認知症治療において知っておくべきこと。第13回品川認知症勉強会，東京，2019.6.14

小野賢二郎：認知症と内科疾患。生活習慣病フォーラム 認知症と糖尿病，東京，2019.6.18

小野賢二郎：アルツハイマー型認知症の診断と治療 症状・病態からの治療方針を考える。東京都病院薬剤師会臨床薬学研究会，東京，2019.6.25

小野賢二郎：アルツハイマー病：疾患修飾へのアプローチ。兵庫変性疾患フォーラム，神戸，2019.6.28

小野賢二郎： $\alpha$ シヌクレインとパーキンソン病の最近の研究と話題。Takeda Parkinson's Disease Web Symposium，東京，2019.7.1

小野賢二郎：レビー小体病：疾患修飾へのアプローチ. 第 40 回多摩パーキンソン病懇話会, 東京 2019.7.4

小野賢二郎：認知症 最新治療のアプローチ. 健康寿命の延伸を目指す医歯薬連携の会, 富山, 2019.7.6

小野賢二郎：レビー小体病：疾患修飾へのアプローチ. DLB セミナー in 和歌山, 2019.7.11

小野賢二郎：アルツハイマー型認知症の診断と治療戦略. 第 27 回信州核医学研究会, 松本, 2019.7.20

小野賢二郎：山あり，谷ありの挑戦 自分を信じて. 昭和大学学士会後援セミナー, 東京, 2019.7.23

小野賢二郎：アルツハイマー型認知症の診断と治療. 北多摩認知症フォーラム, 東村山, 2019.8.26

小野賢二郎：Case Study about Sleep Symptoms in AD. Improving Outcomes in Alzheimer's Disease I Current Scenario, Singapore, 2019.8.28

小野賢二郎：アルツハイマー病：疾患修飾へのアプローチ. 高齢者医療を考える講演会 認知症と糖尿病の最新医療, 東京, 2019.9.9

小野賢二郎：アルツハイマー型認知症の診断と治療. Web セミナー, 東京, 2019.9.9

小野賢二郎：アルツハイマー型認知症の診断と治療戦略. 第 24 回静岡県認知症研究会, 静岡, 2019.10.5

小野賢二郎：疾患修飾ターゲットとしてのプロトフィブリル. Clarity AD Investigator Meeting, 大阪, 2019.9.29

小野賢二郎：アルツハイマー型認知症の診断と治療 戰略. 第 4 回黒川認知症研究会, 仙台, 2019.10.9

小野賢二郎：アルツハイマー型認知症の診断と治療. 第 34 回昭和大学クリニカルセミナー, 東京, 2019.10.19

小野賢二郎：内科疾患から見た認知症. 生涯教育講座認定講演会 第 4 回包括的視点から認知症を考える会, 福島, 2019.10.30

小野賢二郎：レビー小体病：疾患修飾へのアプローチ. 第2回若手医師のための  
NEUROLOGY SEMINAR IN YAMAGATA NSY 2019 秋, 山形, 2019.11.22

小野賢二郎：アルツハイマー病：疾患修飾へのアプローチ. 第9回メトロポリタン  
脳の老化・認知症フォーラム, 東京, 2019.12.10

笠井英世：昭和大学における脳卒中診療～脳神経外科との連携も踏まえて～.  
旗の台抗血栓療法研究会, 東京, 2019.2.14

笠井英世：脳梗塞と糖尿病～両者の関連性で今わかっていること～.  
Neurometabolic conference, 東京, 2019.6.3

笠井英世：頭痛診療における産業医的アプローチの重要性. 頭痛診療 update セ  
ミナー, 東京, 2019.9.12

兼元みづき：右上肢帶の不随意運動を呈した左前頭葉てんかんの一例. Epilepsy  
Round Table Discussion, 東京, 2019.1.17

兼元みづき：昭和大学病院でのてんかん診療におけるトランジションの現況に  
ついて. 城南 Epilepsy Forum, 東京, 2019.7.5

兼元みづき：パーキンソン病治療の現状と課題～臨床医の立場からの考察～. 武田  
製薬 Web 講演会, 東京, 2019.10.28

兼元みづき：てんかんと脳卒中 最近の話題. 北品川 Neuro Conference, 東京,  
2019.11.27

兼元みづき：パーキンソン病における便秘とその治療. 消化管機能セミナー, 東京,  
2019.12.3

神谷雄己：頸動脈超音波の基本. 第13回東京脳卒中の血管内治療セミナー, 東京,  
2019.9.7

栗城綾子：経食道心エコーでなにがわかるか～潜因性脳梗塞診断の実際～. 脳卒中  
Joint Conference, 東京, 2019.9.27

黒田岳志：パーキンソン病とパーキンソン症候群. 第18回 品川区医師会主催 しな  
がわ多職種勉強会, 東京, 2019.2.8

黒田岳志：脳神経内科医が診るてんかん～認知症との鑑別～. 品川認知症勉強会,  
東京, 2019.6.14

黒田岳志：てんかんと代謝・自己免疫疾患. Neurometabolic Conference, 東京, 2019.10.3

野元祥平, 金野竜太, 森 友紀子, 二村明徳, 杉本あずさ, 黒田岳志, 矢野 恵, 村上秀友, 落合裕隆, 小風 曜, 小野賢二郎：アルツハイマー型認知症, 軽度認知障害における甲状腺機能と脳血流量の関連. 第 47 回昭和大学神経研究会, 東京, 2019.6.7

野元祥平, 金野竜太, 森 友紀子, 二村明徳, 杉本あずさ, 黒田岳志, 矢野 恵, 村上秀友, 落合裕隆, 小風 曜, 小野賢二郎：アルツハイマー型認知症, 軽度認知障害における甲状腺機能と脳血流量の関連. 第 6 回田園都市 Brain Conference, 横浜, 2019.6.17

馬場康彦：新規 MAO-B 阻害薬ラサギリンへの期待. Takeda PD Web symposium, 東京, 2019.1.23

馬場康彦：認知症の診療～メマンチンの特徴とは～. 認知症 WEB セミナー, 横浜, 2019.2.1

馬場康彦：認知症の診療～ご本人らしさを保つために～. 神戸市北区認知症治療講演会, 神戸, 2019.2.14

馬場康彦：新規 MAO-B 阻害薬ラサギリンへの期待. Takeda PD Web symposium, 東京, 2019.2.22

馬場康彦：認知症の診療～ご本人らしさを保つために～. 第 9 回診療所における認知症の方への関わりを考える会, 東京, 2019.2.22

馬場康彦：認知症の診断と治療. かかりつけ医認知症対応力向上研修(横浜市青葉区), 横浜, 2019.3.5

馬場康彦：高齢化社会に向けたこれからのパーキンソン病. パーキンソン病座談会, 横浜, 2019.3.7

馬場康彦：パーキンソン病の診断と治療. 武田薬品ニューロサイエンス WEB 講演会, 東京, 2019.3.11

馬場康彦：認知症の診療～ご本人らしさを保つために～. 第 9 回西名古屋認知症セミナー, 名古屋, 2019.3.14

馬場康彦：パーキンソン病の治療について. 大塚製薬パーキンソン病勉強会, 横浜, 2019.4.2

馬場康彦：認知症の診療～メマンチンの特徴とは～. 認知症とVTEの治療戦略研究会, 唐津, 2019.4.5

馬場康彦：日常診療における神経疾患について. 第30回藤が丘地域連携フォーラム, 横浜, 2019.4.11

馬場康彦：新規MAO-B阻害薬ラサギリンへの期待. 武田薬品ニューロサイエンスWEB講演会, 東京, 2019.4.25

馬場康彦：認知症の診療～ご本人らしさを保つために～. 真壁医師会学術講演会, 筑西, 2019.5.21

馬場康彦：元気は血管から. 令和元年青葉区介護予防普及啓発講演会, 横浜, 2019.6.13

馬場康彦：パーキンソン病の診療－MAO-B阻害薬の位置づけ－. 横浜北部神経内科Forum, 横浜, 2019.6.24

馬場康彦：進行期パーキンソン病の治療について. パーキンソン病Webシンポジウム, 横浜, 2019.6.28

馬場康彦：パーキンソン病の診療～MAO-B阻害薬ラサギリンへの期待～. Takeda Parkinson's Disease Web Symposium, 東京, 2019.7.1

馬場康彦：高齢化社会に向けたパーキンソン病治療. ニュープロパッチ発売6周年記念講演会, 横浜, 2019.9.5

馬場康彦：神経変性疾患における認知症の診療について. リバスタッチWEBセミナー, 横浜, 2019.10.15

馬場康彦：パーキンソン病の診療～MAO-B阻害薬ラサギリンへの期待～. Takeda Parkinson's Disease Web Symposium, 東京, 2019.10.31

馬場康彦：高齢化社会におけるパーキンソン病治療～消化管障害と非経口治療～. NEUPRO学術講演会, 東京, 2019.11.1

馬場康彦：パーキンソン病の治療について. エーザイ疾患研修会, 横浜, 2019.11.5

馬場康彦：パーキンソン病の診療～MAO-B阻害薬ラサギリンへの期待～. NIN研究会, 名古屋, 2019.11.14

馬場康彦：パーキンソン病の診療～MAO-B 阻害薬ラサギリンへの期待～. Takeda Neurology Web Symposium, 東京, 2019.11.18

馬場康彦：パーキンソン病の診療～MAO-B 阻害薬ラサギリンへの期待～. パーキンソン病 UP TO DATE, 新潟, 2019.11.22

馬場康彦：パーキンソン病の薬物治療～ガイドラインからオーダーメイド～. 湘南・西湘神経難病勉強会, 大磯, 2019.11.26

馬場康彦：認知症～医療の視点を深め本人家族に寄り添う支援を目指そう～. 介護支援専門員協会県央三市合同研修会, 綾瀬, 2019.11.28

馬場康彦：パーキンソン病の診療～MAO-B 阻害薬ラサギリンへの期待～. Takeda Parkinson's Disease Web Symposium, 東京, 2019.12.12

稗田宗太郎：認知症の診断と治療 -AD の治療戦略を中心に-. イクセロンパッチ Web Live Meeting 2019, 東京, 2019.02.22

稗田宗太郎：便秘と Parkinson 病の関連性. 城南クリニカルセミナー, 東京, 2019.7.26

稗田宗太郎：当院でのデュオドーパ導入例の症例提示と経過報告. 進行期パーキンソン病地域医療連携研究会, 東京, 2019.9.6

稗田宗太郎：便秘と Parkinson 病の関連性. First Research Communication FOR the Summit of BGA (Brain-Gut Axis) at Tokyo 2019, 東京, 2019.9.20

稗田宗太郎：Parkinson 病による認知機能障害. Takeda Parkinson's Disease Web Symposium, 東京, 2019.11.20

水間啓太：超急性期脳卒中診療における自験例の検討. 東京東部神経救急医療機関抗凝固療法セミナー, 東京, 2019.2.8

水間啓太：昭和大学病院における脳塞栓症診療の現状と今後. 第 1 回 Jonan Cerebrovascular Conference, 東京, 2019.11.13

水間啓太：大動脈解離術後に遅発性に発症した脳梗塞の症例. 第 19 回城南脳卒中予防研究会, 東京, 2019.11.13

Momma Y, Kuroda T, Asano M, Ohashi H, Kubota A, Futamura A, Ono K. A 13-year-old multiple sclerosis female medicated by Dimethyl fumarate. 多発性硬化症 Lecture & discussion, 東京, 2019.11.29

### (3) その他の対外活動（委員会、取材など）

#### (A) 委員会等（学会の役員、委員等は除く）

小野賢二郎：荏原病院東京都地域拠点型認知症疾患医療センター連携協議会委員

笠井英世：区南部圏域脳卒中医療連携推進幹事会委員

二村明徳：荏原病院東京都地域拠点型認知症疾患医療センター連携協議会委員

#### (B) 取材等

小野賢二郎：グッディ「認知症予防にエアリハ体操が話題」. フジテレビ, 2019.3.6

小野賢二郎：バイキング「相次ぐ高齢者による自動車事故 75歳以上は義務 認知機能検査」. フジテレビ, 2019.4.26

小野賢二郎：バイキング「高齢者ドライバーの危険運転 判断力は大丈夫？認知症の疑い」. フジテレビ, 2019.5.13

小野賢二郎：日経産業新聞「甲状腺ホルモン、認知症目印か」. 日経産業新聞, 2019.9.19

小野賢二郎：日経産業新聞「認知症の原因 安価に検査 タンパク質の蓄積判定」. 日経産業新聞, 2019.12.10

神谷雄己：導入事例. BONX mini,  
<https://greenfunding.jp/lab/projects/3072/activities/10062>, 2019.12.12

### (4) 学会、研究会等の主催

なし

## 【6】研究助成

小野賢二郎：厚生労働省・平成 31 年度厚生労働科学研究費『アミロイドーシスに関する調査研究』班・研究開発分担者（研究開発代表者・内木宏延）

小野賢二郎：文部科学省／日本学術振興会・平成 31 年度科学研究費補助 基盤研究 (C) 「膜障害に焦点を当てた高分子 A $\beta$  オリゴマーの毒性機序に関する検討」・研究代表者

小野賢二郎：日本医療研究開発機構 脳科学研究戦略推進プログラム「レビー小体型認知症 (DLB) の病原性蛋白質 $\alpha$  シヌクレインの新規診断・治療効果判定法の開発」・研究分担者（研究代表者・望月秀樹）

小野賢二郎：日本医療研究開発機構 医療研究開発確信基盤創成事業 実用化開発タイプ「アルツハイマー病の新規治療薬の創出」・研究分担者（研究代表機関・日本臓器製薬株式会社）

小野賢二郎：文部科学省／日本学術振興会・平成 31 年度科学研究費補助 基盤研究 (C) 「アミロイド $\beta$  毒性阻害を標的としたアルツハイマー病発症予防健康食品成分の探索」・研究分担者（研究代表者・辻 まゆみ）

金野竜太：文部科学省／日本学術振興会・平成 29～32 年度科学研究費 基盤研究 (C) 「統語処理を支える脳内ネットワークの機能低下が言語機能に及ぼす影響」・研究代表者

馬場康彦：文部科学省／日本学術振興会・令和元年度科学研究費 基盤研究 (C) 「パーキンソン症候群の難治性疼痛と歩行障害に対する脊髄刺激の影響」・研究代表者

## **[7] 学位・専門医・認定医など**

### **(1)学位の取得**

野 元 祥 平

### **(2)専門医・認定医の取得**

(日本神経学会 神経内科専門医)

兼 元 みづき  
栄 良 樹  
野 原 哲 人  
門 馬 佑太郎

(日本内科学会 総合内科専門医)

大 湾 善 行  
二 村 明 徳  
水 間 啓 太  
矢 野 怜

(日本脳神経超音波学会認定脳神経超音波検査士)

水 間 啓 太

## **[8] 裹 章**

なし

## 【9】附属病院の紹介

### 藤が丘病院

藤が丘病院脳神経内科は、脳神経外科と共同で脳神経センターを運営しております。一般病棟の他に脳卒中ケアユニット（SCU）3床を開設しております。SCUでは脳卒中専門医をはじめとする脳神経センターの専門スタッフによる治療のほか、3対1の看護、早期からのリハビリテーションを受けることが可能であり、急性期脳卒中の診療をさらに充実したものとし、より質の高い医療を提供できるもの考えております。また、救急隊や地域の医療機関からのスムーズな受け入れを実現すべく、脳卒中ホットラインも設置しております。治療では、脳梗塞超急性期には、経静脈的血栓溶解療法（r-tPA療法）のほか、血栓回収ステントによる血管内血栓除去術などが専門医の判断で適応に応じて施行可能となっております。再発予防・急性期リハビリテーションの観点では、できる限り患者さんの負担が少ない検査の上で治療を選択し、脳神経外科やリハビリテーション科医師と連携し、必要に応じて適切な外科的治療方針、早期のリハビリテーション介入を行い、患者さんに最良の治療を尽くしております。

一方で、パーキンソン病や運動ニューロン疾患など、神経疾患全般の入院・外来診療も行っております。今後も地域の医療機関とも連携をとり、急性期医療、高度救急医療を実践する地域の基幹病院における一員としての役割を果たすとともに、地域医療に貢献できる診療科として努力して行きたいと考えております。

(文責:大湾喜行)



## 横浜市北部病院

横浜市北部病院・神経内科は、内科の診療部門の一つとして、腎臓・糖尿病・内分泌・血液内科などの診療科と密な連携のもとに診療に従事しています。したがって、神経内科疾患だけでなく、内科疾患、内科疾患に絡んだ神経疾患も多く、様々な症例を診察しています。尚、日本神経学会の准教育施設、日本脳卒中学会の研修教育施設であり、またその他様々な内科系学会の認定施設にもなっています。

対象疾患は神経内科及び内科全般であり、主に神経変性疾患(パーキンソン病、アルツハイマー型認知症 等)、脳血管障害(脳梗塞 等)、脱髄性疾患(多発性硬化症、視神經脊髓炎 等)、炎症性疾患(髄膜炎、脳炎等)、痙攣・てんかん 等、幅広く診療しています。外来患者はパーキンソン病をはじめとした神経変性疾患が多く、その他にも頭痛、めまい、しびれ、もの忘れなどを主訴に来院する神経内科疾患、また、発熱などを主訴に来院するいわゆる内科疾患の診療も行っています。

教育に関しては、病歴聴取・身体診察をはじめ丁寧な診察をすることを心掛けており、希少な症例においては学会発表を行い、症例報告論文にすることを目標にしています。研究に関してはMRIなどの神経画像を用いた臨床研究を主とし、近年では昭和大学脳神経内科と共同して認知症と脂質代謝異常に関する研究成果を報告しました (Kinno et al., *Neuroimage Clin*, 2019)。また、東京大学院総合文化研究科や東京女子医科大学脳神経外科と共同して神経膠腫による皮質構造変化の可視化に関する研究をすすめております。

(文責：金野竜太)



# 江東豊洲病院

## ・診療

江東豊洲病院 脳神経内科は、外科手術を必要としない脳神経系の診療全般を担当しております。日本神経学会指導医・専門医のほか、脳卒中専門医、脳神経血管内治療指導医・専門医、脳神経超音波検査士を有し、脳神経疾患の急性期診療のほとんどを自科で包括的に行うことができます。また、脳神経外科と連携し、脳血管センターとして夜間を含め終日独立した救急診療を行っております。

## ・対象疾患

急性期では、脳梗塞、一過性脳虚血発作、脳出血、くも膜下出血などの脳卒中を中心に診療するとともに、脳炎、髄膜炎、けいれん、ギランバレー症候群などその他の急性期脳神経疾患を含め、脳神経の救急疾患を幅広く対象としています。慢性期では、脳血管狭窄症や脳動脈瘤などの脳血管障害を中心に診療しております。

## ・治療

できる限り患者さんの負担が少ない検査、治療を選択します。また、脳神経外科、リハビリテーション科と連携し、適切な手術方針、早期のリハビリテーション介入をすすめ、患者さんの健康寿命延伸に努めております。

## ・特徴的な診療領域

当科の特色として、脳神経血管内治療と脳神経超音波検査があります。脳神経血管内治療は外科手術と比べて患者さんの負担が少ない治療です。江東豊洲病院では脳神経内科が担当し、内科治療を軸とした包括的治療の一環として取り入れ、継ぎ目のない治療を行っております。また、患者さんに対する侵襲の少ない超音波検査を積極的に使用し、脳神経超音波検査士の資格を持つ医師が専門的な診断を行っております。

## ・研修

日本神経学会の教育施設であるほか、日本脳卒中学会、日本脳神経超音波学会、日本脳神経血管内治療学会の研修施設であり、これらの専門医取得が可能です。とくに日本脳神経血管内治療学会専門医に関しては、脳神経内科に所属して取得が可能な希少な施設です。

## ・実績（2019年1月～12月）

総入院患者数 427人

(脳梗塞 215人 うちアルテプラーゼ

(tPA) 静注療法 19件、カテーテルによる

血行再建術 37件)

脳卒中A選定救急搬送数 241件

経食道心エコー検査 95件

脳神経血管内治療 85件

(文責：栗城綾子)



# 【10】昭和大学脳神経内科 在籍者名簿

[昭和大学病院・附属東病院]

主任教授（診療科長）	小野 賢二郎
客員教授	河村 満
准教授	稗田 宗太郎
講師（科長補佐）	矢野 怜
講師（病棟医長）	黒田 岳志
講師（外来医長・医局長）	笠井 英世
講師	杉本 あづさ
助教	兼元 みづき
助教	二村 明徳
助教	水間 啓太
助教	渡辺 大士
助教	渡辺 慶子
助教	栄 良樹
助教	所澤 任修
助教（医科）	久保田 怜美
助教（医科）	浅野 未希
大学院生	飯塚 奈都子
大学院生	森 友紀子
大学院生	野原 哲人
大学院生	門馬 祐太郎
大学院生	木村 篤史
大学院生	木安 本太郎
大学院生	高橋 聖也
大学院生	三木 綾子
内科専攻医	石田 敦士
内科専攻医	小菅 将太
内科専攻医	澤井 綾子
内科専攻医	正路 大樹
内科専攻医	鍋島 陽子
内科専攻医	石代 優美香
臨床心理士	宮之原 麻衣
研究補助員	石引 由美

[藤が丘病院]

准教授	馬 場 康 彦
講師	大 湾 善 行
助教	黒 川 信 二
助教	野 元 祥 平
助教 (医科)	山 本 謙
助教 (医科)	刑 部 祐友子

[藤が丘リハビリテーション病院]

病院長／准教授 市 川 博 雄

[横浜市北部病院]

講師	金 野 龍 太
助教	内 山 正 信
助教 (医科)	大 橋 英 朗

[江東豊洲病院]

准教授	神 谷 雄 己
講師	栗 城 綾 子
助教	田 中 健一郎
助教	宮 内 淑 史
助教	小 室 浩 康
内科専攻医	福 田 早 織
内科専攻医	藤 井 隆 史
内科専攻医	和 田 隆 秀
内科専攻医	加 藤 悠 太

## 編集後記

今回、医局年報第4号の作成に携わらせていただきました新医局長の笠井です。

2019年はさまざまな出来事で賑わった年でもありましたが、特に際立ったのはラグビーワールドカップでのラグビー日本代表の躍進ではないでしょうか。素人の私はルールを詳しくは知らないですが、そこが分からなくてもワールドカップレベルとなると直接的に訴えてくる面白さ、すごみがありました。あれだけ激しくぶつかり合っても、判定に文句をいう人がほとんどいない紳士のスポーツということも実感しました。その日本での開催で、堂々のbest8。本当に感動しました。

そのワールドカップが開催される1か月前である2019年8月より私は医局長に就任し、今回初めてこのような年報の作成に従事しました。従事して始めてわかったこと。私はデータが物語る今年の当科のがんばりを知ることができ、医局員全員の努力に改めて気づかされました。

今年度の当科においては、ラグビー日本代表に負けることなく昨年度以上に、昭和大学病院および附属病院から多数の学会・研究会での発表が行われ、論文・総説などの執筆がありました。一方で臨床においては脳卒中を始め、認知症・変性疾患、頭痛やてんかんなどの発作性疾患、末梢神経・筋疾患まで幅広い範囲の患者さんの診療に携わり、結果的には昨年度の外来患者数・入院患者数と比較し、今年度はいずれも患者数は増加しております。大学病院としても地域医療としても当脳神経内科が必要とされていることを実感し、そして来年度はさらに周りから認められるよう努力していくかねばなりません。是非とも今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひいたします。

最後になりますが、昭和大学脳神経内科に関わり支えてくださった関係各所の多くの方々に、この場を借りて改めて厚く御礼申し上げます。今後とも当医局を温かい目で見守って頂ければ幸いに存じます。

医局長 笠井 英世

